

(2) 日 影

① 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻及び時間数等の日影の変化の程度

ア 予測方法

予測方法は評価書と同様とし、計画建築物による冬至日の午前8時から午後4時（真太陽時）における時刻別日影図及び等時間日影図を作図する方法とした。

予測条件のうち、計画建築物（GN06 街区）の配置、形状及び高さを一部変更した。また、第6期建替事業の計画建築物（GN03 街区）の変更についても予測条件に含めて予測した。

なお、予測時点については、第6期建替事業の完了後とした。

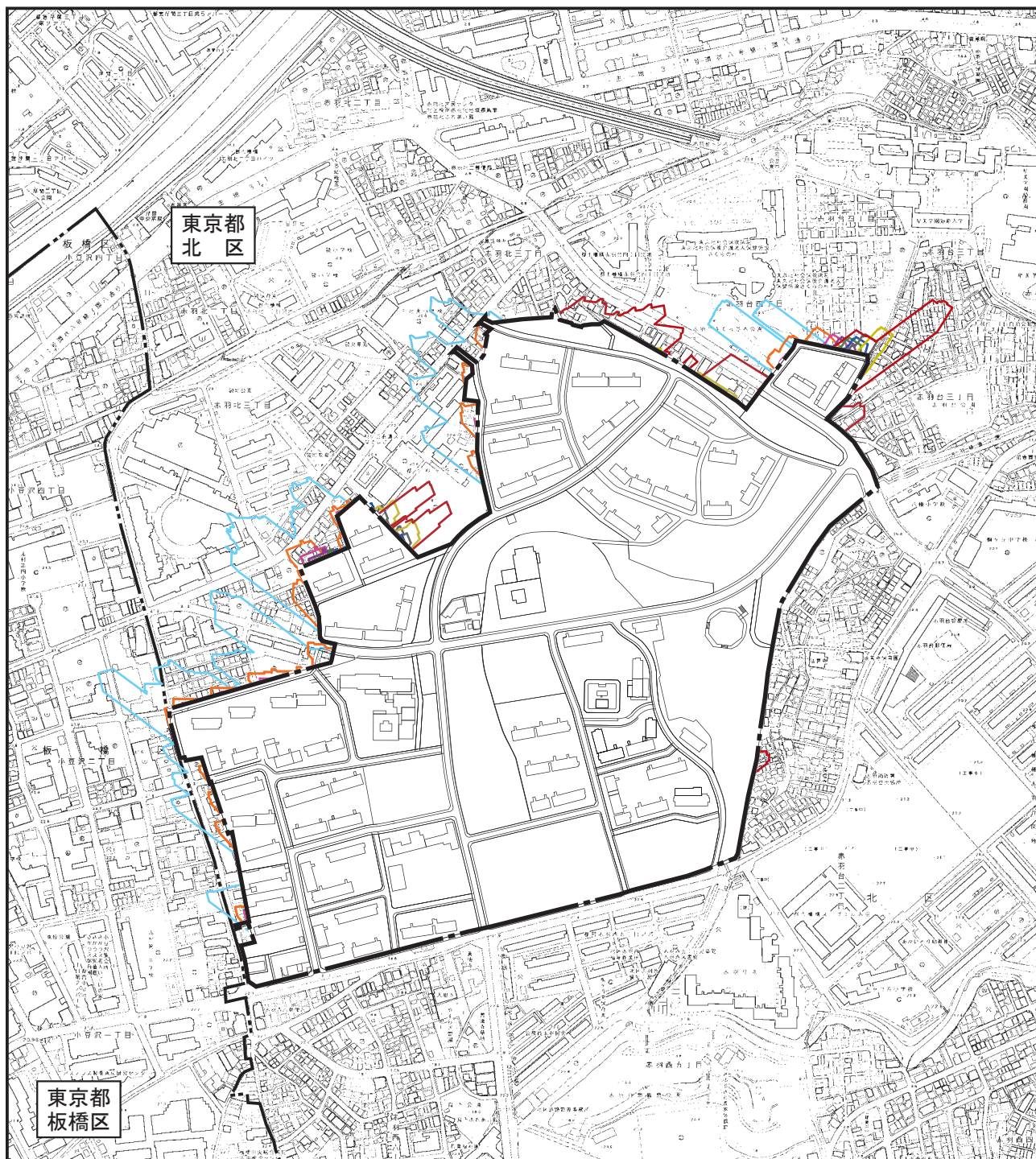
イ 予測・評価の結果

建築計画の一部変更及び第6期建替事業の実施に伴う変更後及び変更前の予測の結果は、図 5.2.2-1～図 5.2.2-4 に示すとおりである。

本事業及び第6期建替事業で建設する計画建築物による冬至日の午前8時から午後4時の時間帯で計画地外に日影が及ぶ範囲は図 5.2.2-1(1)に示すとおり、計画建築物の北西側から北東側の方向であり、計画建築物（GN06 街区）の配置及び高さの一部変更並びに第6期建替事業の実施に伴い、日影が及ぶ範囲はわずかに変更となる。

また、2時間以上の日影が及ぶ範囲は、図 5.2.2-2(1)に示すとおり、計画地北側の計画建築物の北西または北東の方向であり、計画建築物（GN06 街区）の配置及び高さの一部変更による範囲の変更はないが、第6期建替事業（GN03 街区）の配置及び高さの一部変更に伴い範囲がわずかに変更となる。

本事業及び第6期建替事業の実施に当たっては、評価の指標である「東京都日影による中高層建築物の高さの制限に関する条例」に定める日影規制を満足する計画とすることから、評価の結論に変更はない。



凡 例

—— 計画地

--- 区 界

—— 8 : 00 の日影線

—— 9 : 00 の日影線

—— 10 : 00 の日影線

—— 11 : 00 の日影線

—— 12 : 00 の日影線

—— 13 : 00 の日影線

—— 14 : 00 の日影線

—— 15 : 00 の日影線

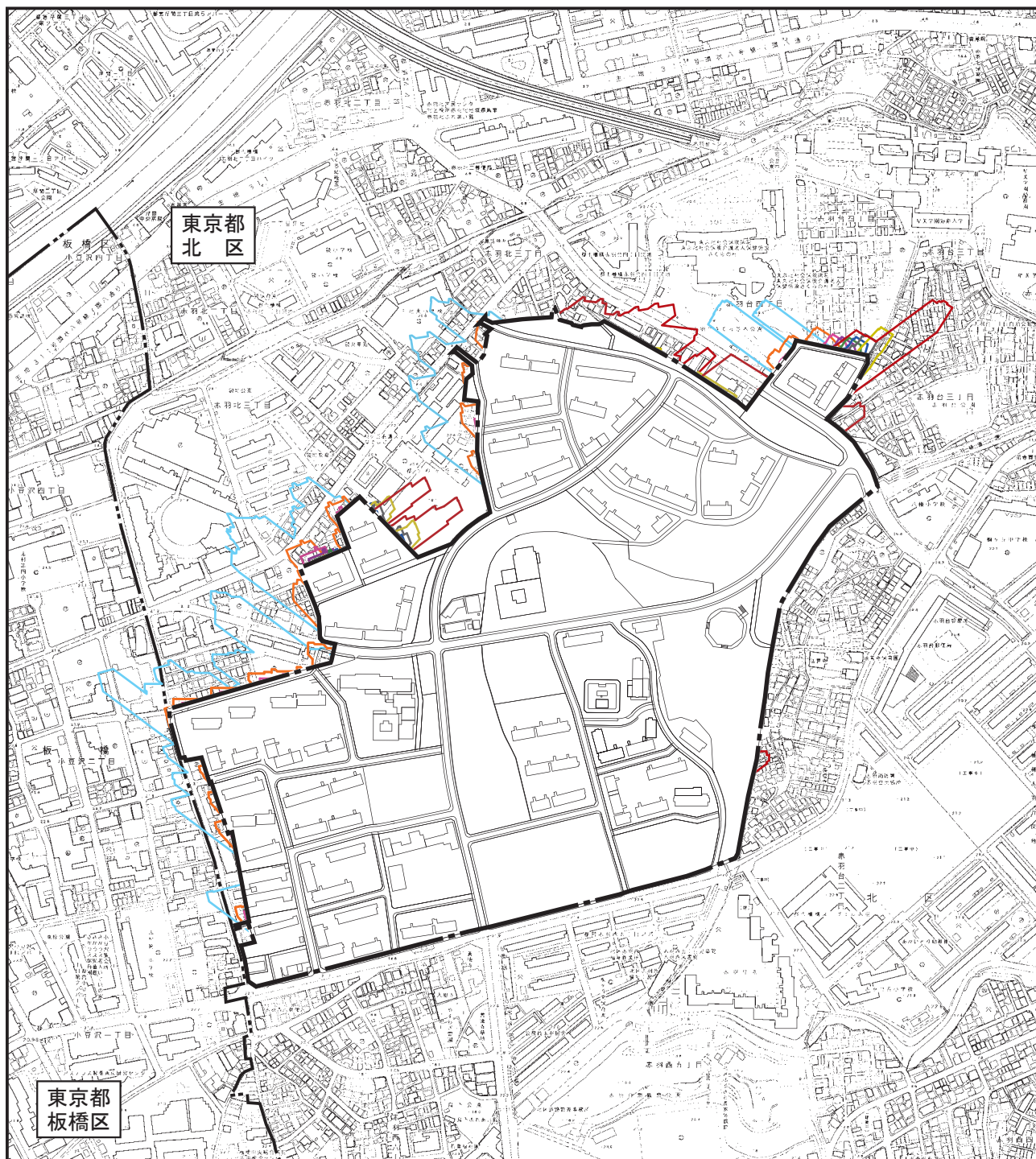
—— 16 : 00 の日影線

※ 冬至日の8時から16時（真太陽時）

図5.2.2-1(1) 時刻別日影図【変更後】

S=1/8,000
0 100 200 300m





凡 例

—— 計画地

--- 区 界

—— 8 : 00 の日影線

—— 9 : 00 の日影線

—— 10 : 00 の日影線

—— 11 : 00 の日影線

—— 12 : 00 の日影線

—— 13 : 00 の日影線

—— 14 : 00 の日影線

—— 15 : 00 の日影線

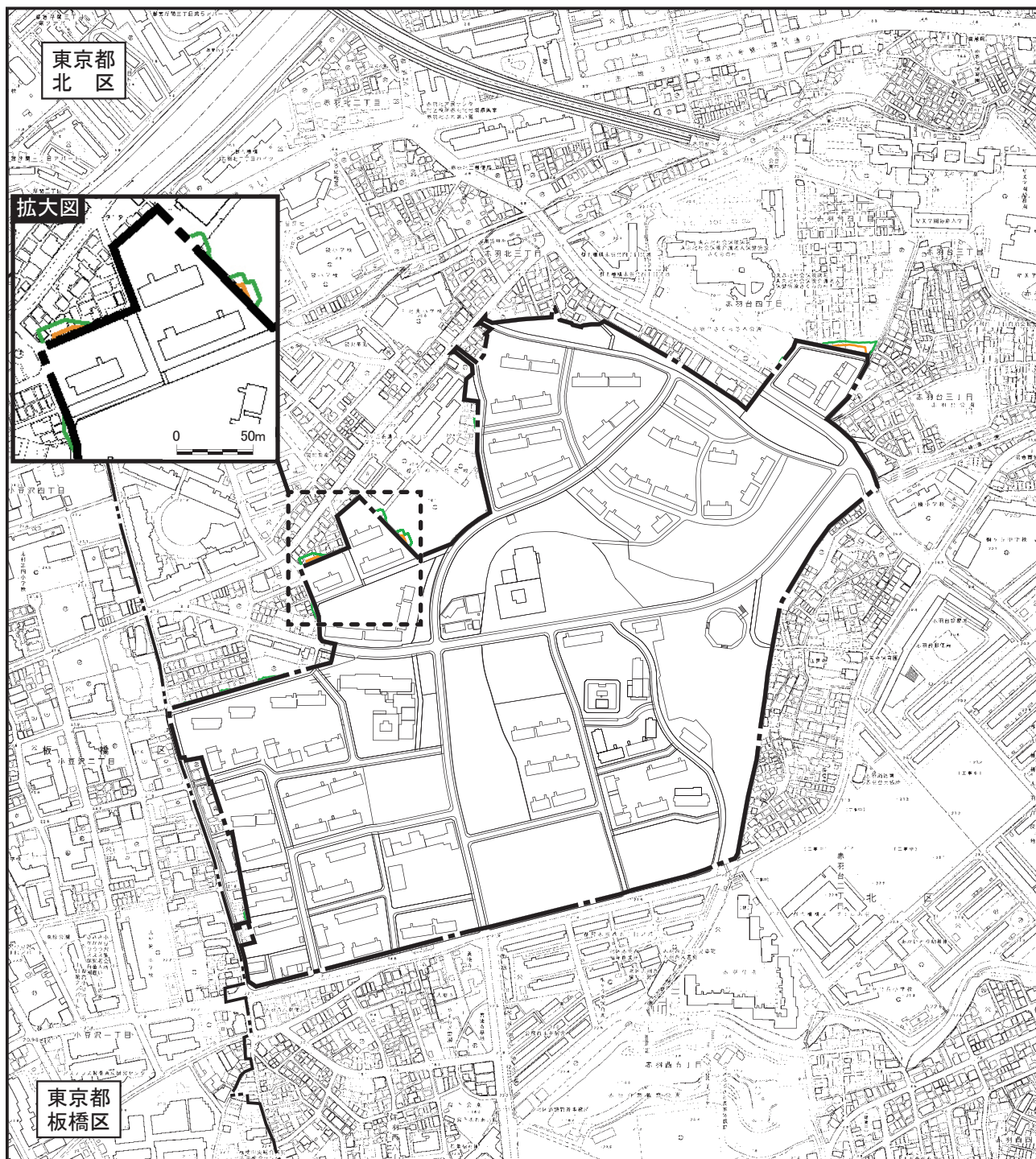
—— 16 : 00 の日影線

※ 冬至日の8時から16時（真太陽時）

図5.2.2-1(2) 時刻別日影図【変更前】

S=1/8,000
0 100 200 300m





凡 例

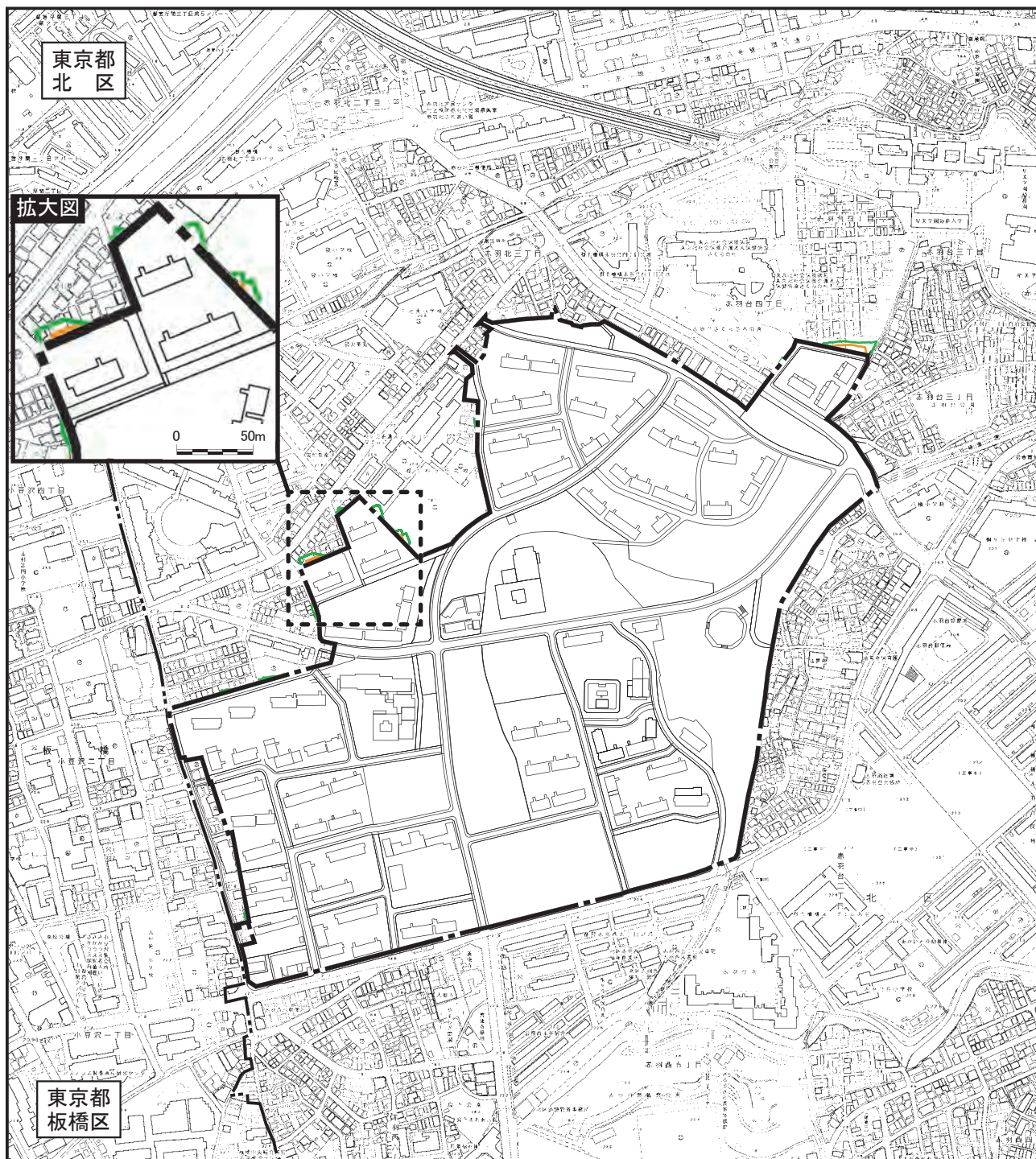
- 計画地
- - - 区 界
- 2時間の日影線
- 3時間の日影線

※ 冬至日の8時から16時（真太陽時）

図5.2.2-2(1) 等時間日影図【変更後】

S=1/8,000
0 100 200 300m





凡 例

- 計画地
- 区 界
- 2時間の日影線
- 3時間の日影線

※ 冬至日の8時から16時（真太陽時）

図5.2.2-2(2) 等時間日影図【変更前】

S=1/8,000
0 100 200 300m



＜参考：計画地及びその周辺における日影規制＞

計画地及びその周辺における日影規制は、「建築基準法」第 56 条の 2 及び「東京都日影による中高層建築物の高さの制限に関する条例」により指定されており、都市計画法に基づき指定された用途地域及び容積率の区分等に応じ、日影規制時間が定められている。

計画地及びその周辺における日影規制の状況は、表 5.2.2-1 及び図 5.2.2-3 に示すとおりである。

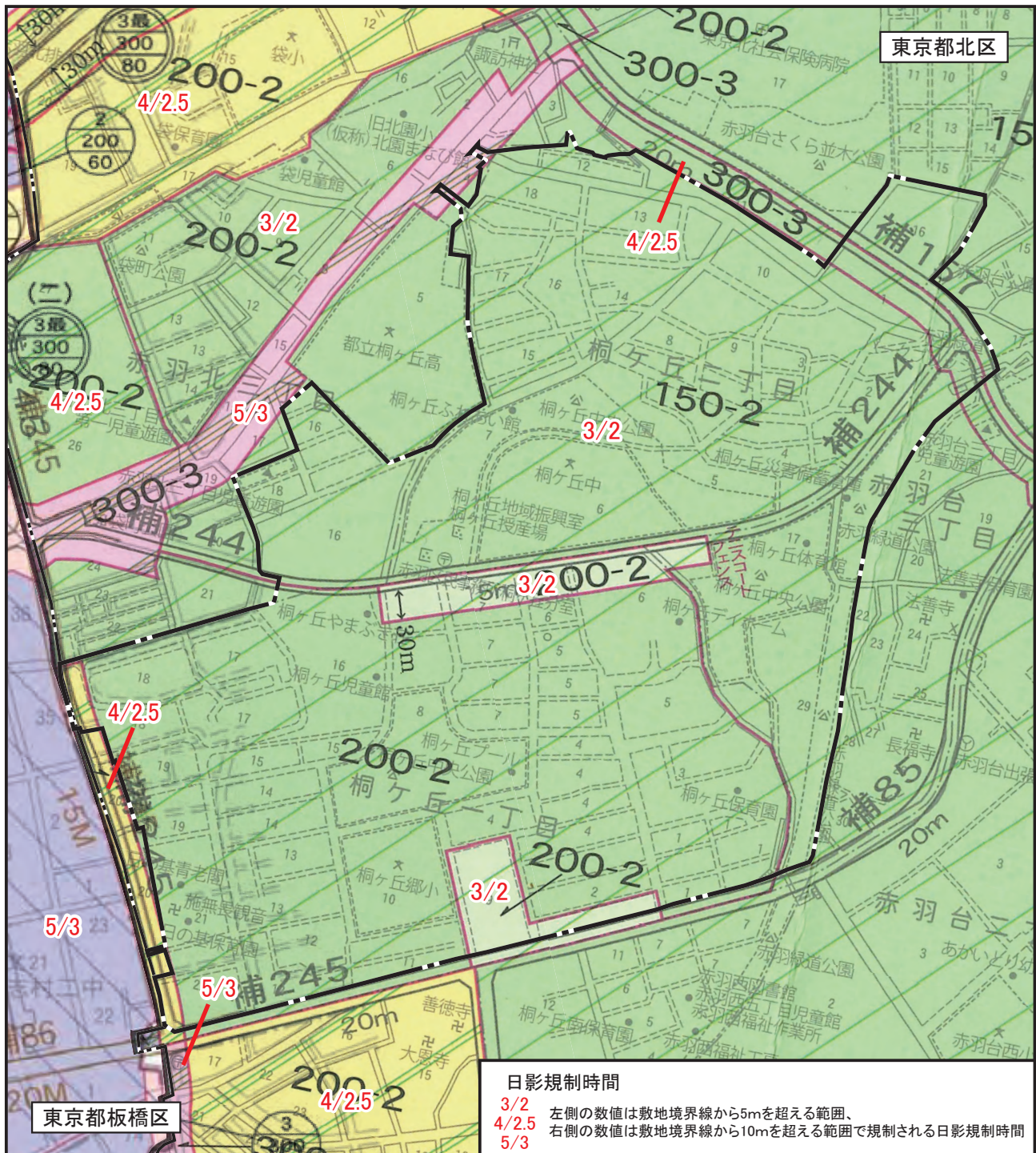
表 5.2.2-1 計画地及びその周辺の日影規制状況

地域	用途地域	規制される範囲 (敷地境界線からの水平距離L)		測定水平面	規制を受ける建築物		
		5m<L≤10m	10m<L				
計画地内	第一種中高層住居専用地域	3 時間以上	2 時間以上	4m	高さが 10m を超える建 築物		
	第二種中高層住居専用地域						
	第一種住居地域	4 時間以上	2.5 時間以上				
計画地周辺	第一種中高層住居専用地域	3 時間以上	2 時間以上				
		4 時間以上	2.5 時間以上				
	第一種住居地域						
	近隣商業地域						
	準工業地域	5 時間以上	3 時間以上				

注 1) 規制される日影は、冬至日における真太陽時の午前 8 時から午後 4 時までの間に生ずる日影時間。

注 2) 測定水平面：平均地盤面からの高さ

平均地盤面からの高さ：建築物が周囲の地面と接する位置の平均の高さにおける水平面からの高さのこと。



凡 例	
--- 計画地 --- 区 界 第一種住居地域 近隣商業地域 商業地域 準工業地域 (第二種特別工業地区) 準工業地域	板橋区凡例 工業地域 (第一種特別工業地区) A:高度地区 B:容積率 C:建ぺい率 2重枠は防火地域
第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域 第一種住居地域 近隣商業地域 商業地域 準工業地域(特別工業地区)	北区凡例 準工業地域 工業地域 高度利用地区 地区計画区域等 容積率200% 第2種高度地区 枠付きは防火地域

図5.2.2-3 日影規制の状況

資料) 「板橋区地域地区図」(平成23年4月現在、板橋区都市整備部)
「北区都市計画図Ⅰ」(平成23年4月現在、東京都北区まちづくり部都市計画課)

② 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度

ア 予測方法

予測方法は評価書と同様とし、撮影した天空写真に計画建築物の射影を合成し、夏至、春分秋分及び冬至日の太陽軌道を記入する方法とした。

予測条件のうち、計画建築物（GN06 街区及び GN03 街区（第 6 期事業））の配置、形状及び高さを変更したため、これらの変更に伴い、日影の予測結果に変更が生じることが考えられる地点を再予測地点とした。

日影の再予測地点は、図 5.2.2-4 に示すとおりである。

GN06 街区の建築計画の変更に伴う再予測地点は、地点 A 及び H、GN03 街区の建築計画の変更に伴う再予測地点は地点 G である。

イ 予測・評価の結果

建築計画の変更（GN06 街区及び GN03 街区（第 6 期事業））に伴う変更後及び変更前の予測の結果は、表 5.2.2-1～表 5.2.2-3 及び図 5.2.2-5(1)～図 5.2.2-7(2)に示すとおりである。

計画建築物の配置、形状及び高さの変更（GN06 街区及び GN03 街区（第 6 期事業））により、地点 G において日影となる時刻が変化する（表 5.2.2-2～3 参照）。

地点 G における日影となる時間数の変化は、表 5.2.2-2～4 に示すとおりであり、夏至において約 100 分増、春・秋分において約 20 分増となる。

なお、その他の予測地点（地点 A 及び H）において、日影となる時刻及び時間数に変更はない。

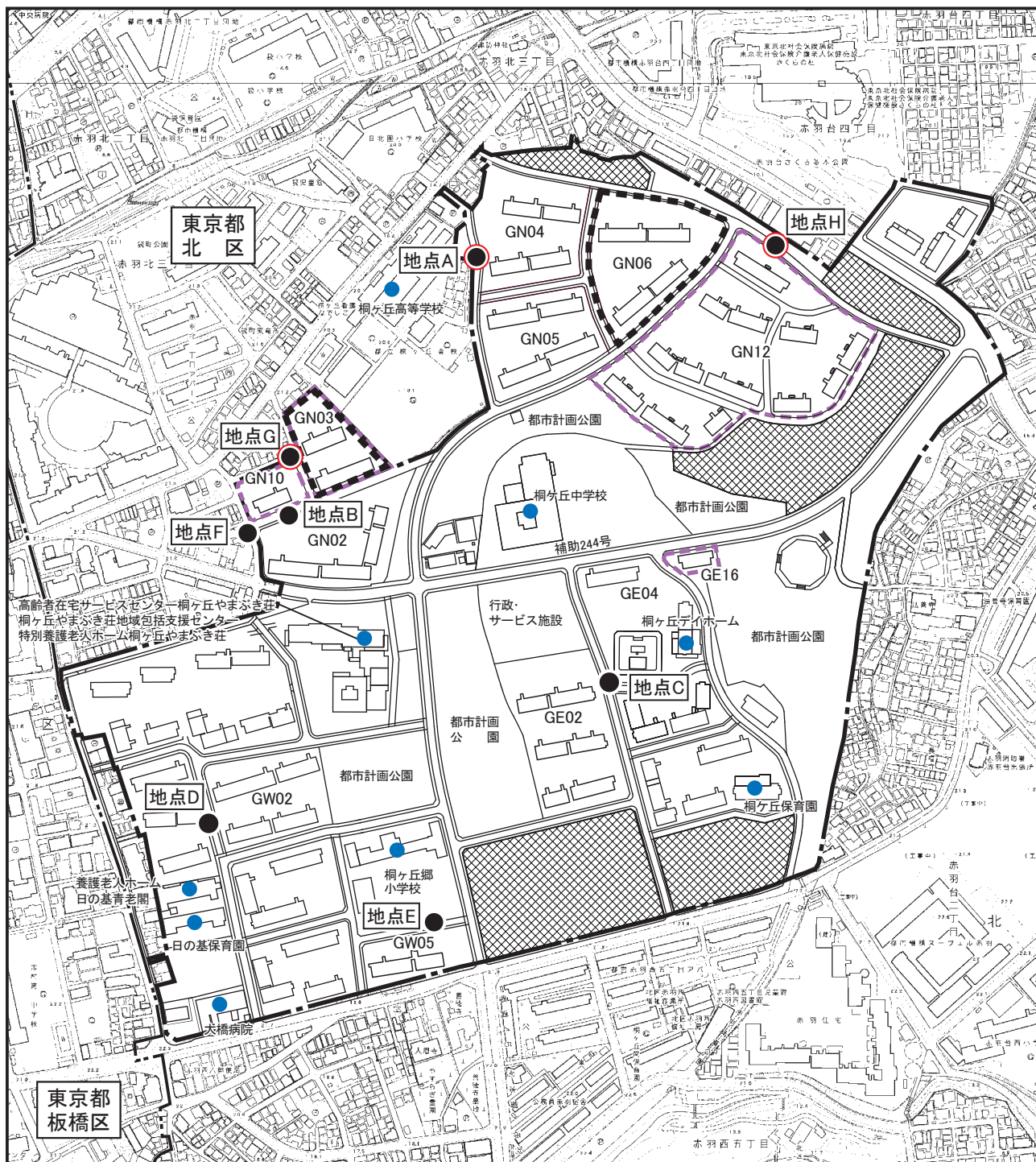
事業計画の変更（計画建築物の配置、形状及び高さの一部変更）に伴い、特に配慮すべき施設に対する予測地点として選定した地点 G において日影となる時間が変化するが、計画建築物による日影は変更前と同様「東京都日影による中高層建築物の高さの制限に関する条例」に定める日影規制を満足する。

このため、評価の結論に変更はない。

表 5.2.2-2 建築計画の一部変更及び第 6 期建替事業の実施に伴う日影の生じる時間の変化

予測地点	時期	日影の生じる時間		変更に伴う 日影時間の変化
		変更後	変更前	
地点 A (都営桐ヶ丘アパート N8 号棟)	夏至	約 100 分	約 100 分	変化なし
	春・秋分	約 220 分	約 220 分	変化なし
	冬至	約 230 分	約 230 分	変化なし
地点 G (都営桐ヶ丘アパート N56 号棟付近)	夏至	約 280 分	約 180 分	約 100 分増
	春・秋分	約 210 分	約 190 分	約 20 分増
	冬至	約 240 分	約 240 分	変化なし
地点 H (都営桐ヶ丘アパート N32 号棟付近)	夏至	0 分	0 分	変化なし
	春・秋分	0 分	0 分	変化なし
	冬至	約 180 分	約 180 分	変化なし

注) 地点 A、地点 G 及び地点 H の変更前は平成 29 年 12 月 15 日変更届時点における変更後の日影時間である。



凡 例

--- 計 画 地

--- 区 界

● 日影予測地点（地点A～H）

● 日影再予測地点（地点A、G、H）

--- 建築計画を一部変更した街区（GN06・GN03街区）

--- 第6期事業区域

--- 除却工事区域

● 特に配慮すべき施設

図5.2.2-4 日影予測地点位置図

S=1/6,000
0 50 100 150 200m



表 5.2.2-3 主要な地点における日影時間【変更後】

地点	時期	時刻	8	9	10	11	12	13	14	15	16	日影の 生じる時間	現況からの 変化量
A	夏至	現況										約30分	—
		工事の完了後										約100分	約70分増
	春・秋分	現況										約120分	—
		工事の完了後										約220分	約100分増
	冬至	現況										約270分	—
		工事の完了後										約230分	約40分減
B	夏至	現況										約10分	—
		工事の完了後										約50分	約40分増
	春・秋分	現況										0分	—
		工事の完了後										0分	変化なし
	冬至	現況										約140分	—
		工事の完了後										約260分	約120分増
C	夏至	現況										0分	—
		工事の完了後										0分	変化なし
	春・秋分	現況										約30分	—
		工事の完了後										約100分	約70分増
	冬至	現況										約220分	—
		工事の完了後										約260分	約40分増
D	夏至	現況										約10分	—
		工事の完了後										約70分	約60分増
	春・秋分	現況										約50分	—
		工事の完了後										約90分	約40分増
	冬至	現況										約270分	—
		工事の完了後										約280分	約10分増
E	夏至	現況										0分	—
		工事の完了後										0分	変化なし
	春・秋分	現況										約410分	—
		工事の完了後										0分	約410分減
	冬至	現況										480分	—
		工事の完了後										約360分	約120分減
F	夏至	現況										約210分	—
		工事の完了後										約150分	約60分減
	春・秋分	現況										約360分	—
		工事の完了後										約240分	約120分減
	冬至	現況										約420分	—
		工事の完了後										約420分	変化なし
G	夏至	現況										約180分	—
		工事の完了後										約280分	約100分増
	春・秋分	現況										約240分	—
		工事の完了後										約210分	約30分減
	冬至	現況										約220分	—
		工事の完了後										約240分	約20分増
H	夏至	現況										0分	—
		工事の完了後										0分	変化なし
	春・秋分	現況										約70分	—
		工事の完了後										0分	約70分減
	冬至	現況										約300分	—
		工事の完了後										約180分	約120分減

■ 既存建築物等による日影時間

□ 計画建築物による日影時間

注 1) 太枠は、再予測を行った地点A、地点G、地点Hの日影時間を示す。

注 2) 地点Gの冬至における現況に示す計画建築物は、調査時点（平成 29 年 8 月 23 日）において建替が完了した GN02 街区であり、計画建築物として示している。

表 5.2.2-4 主要な地点における日影時間【変更前】

地点	時期	時刻														日影の 生じる時間	現況からの 変化量
			8	9	10	11	12	13	14	15	16						
A	夏至	現況														約30分	—
		工事の完了後														約100分	約70分増
	春・秋分	現況														約120分	—
		工事の完了後														約220分	約100分増
	冬至	現況														約270分	—
		工事の完了後														約230分	約40分減
B	夏至	現況														約10分	—
		工事の完了後														約50分	約40分増
	春・秋分	現況														0分	—
		工事の完了後														0分	変化なし
	冬至	現況														約140分	—
		工事の完了後														約260分	約120分増
C	夏至	現況														0分	—
		工事の完了後														0分	変化なし
	春・秋分	現況														約30分	—
		工事の完了後														約100分	約70分増
	冬至	現況														約220分	—
		工事の完了後														約260分	約40分増
D	夏至	現況														約10分	—
		工事の完了後														約70分	約60分増
	春・秋分	現況														約50分	—
		工事の完了後														約90分	約40分増
	冬至	現況														約270分	—
		工事の完了後														約280分	約10分増
E	夏至	現況														0分	—
		工事の完了後														0分	変化なし
	春・秋分	現況														約410分	—
		工事の完了後														0分	約410分減
	冬至	現況														480分	—
		工事の完了後														約360分	約120分減
F	夏至	現況														約210分	—
		工事の完了後														約150分	約60分減
	春・秋分	現況														約360分	—
		工事の完了後														約240分	約120分減
	冬至	現況														約420分	—
		工事の完了後														約420分	変化なし
G	夏至	現況														約180分	—
		工事の完了後														約180分	変化なし
	春・秋分	現況														約240分	—
		工事の完了後														約190分	約50分減
	冬至	現況														約220分	—
		工事の完了後														約240分	約20分増
H	夏至	現況														0分	—
		工事の完了後														0分	変化なし
	春・秋分	現況														約70分	—
		工事の完了後														0分	約70分減
	冬至	現況														約300分	—
		工事の完了後														約180分	約120分減

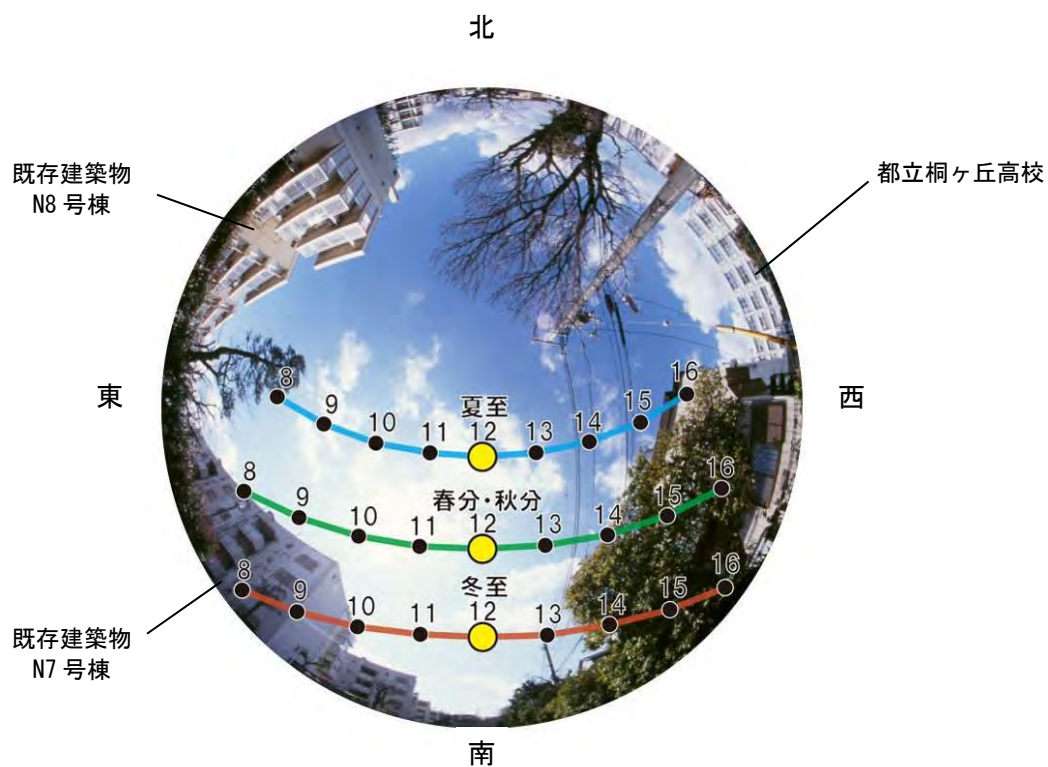
■ 既存建築物等による日影時間

□ 計画建築物による日影時間

注1) 変更前は、平成29年12月15日変更時点における変更後の内容である。

注2) 地点Gの冬至における現況に示す計画建築物は、調査時点（平成29年8月23日）において建替が完了したGN02街区であり、計画建築物として示している。

現 況



撮影年月日：平成 23 年 3 月 23 日

工事の完了後

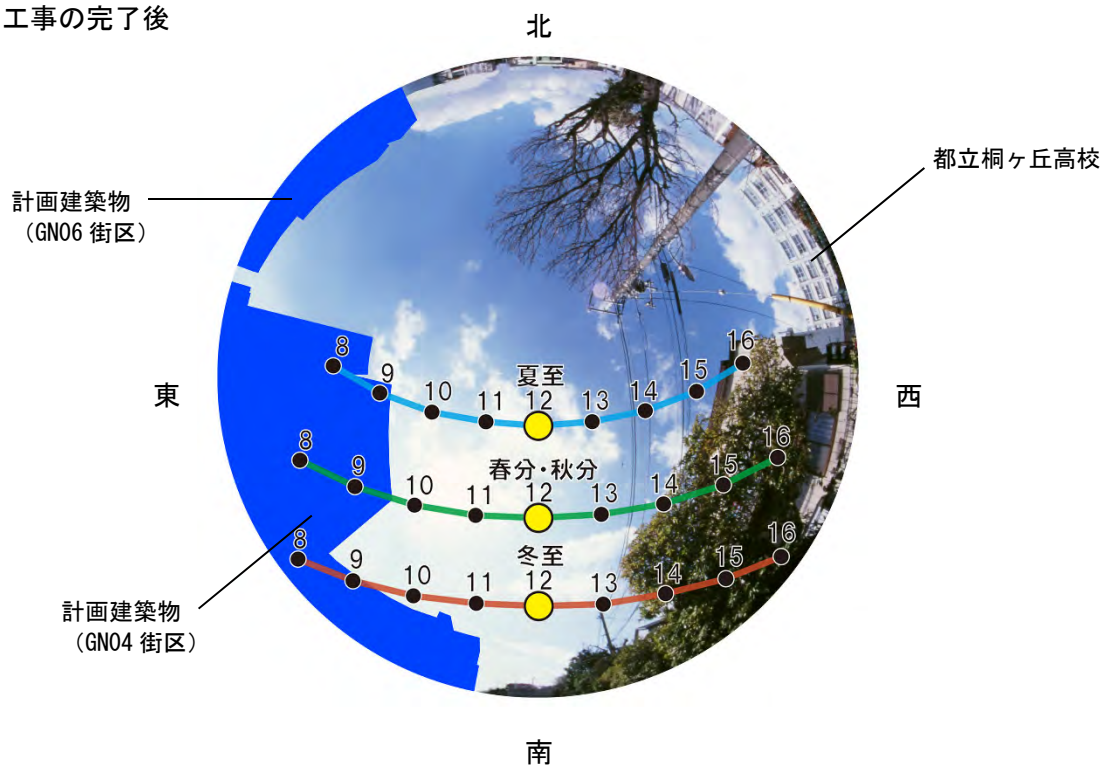
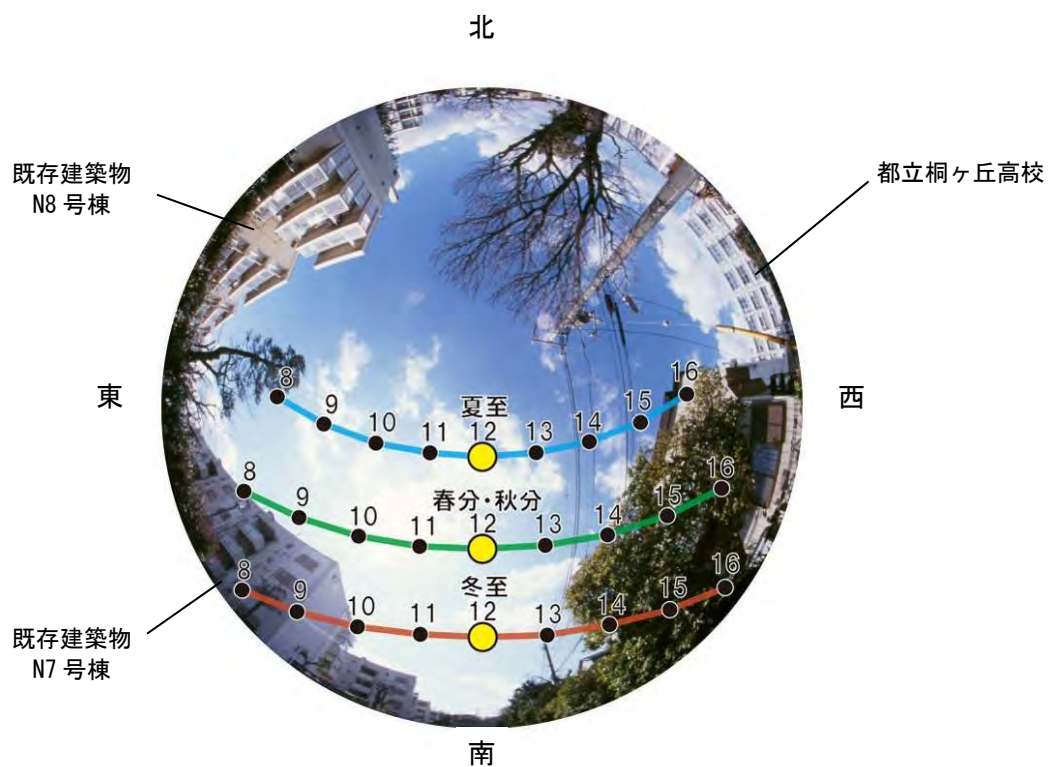


図 5.2.2-5(1) 天空図（地点 A：都営桐ヶ丘アパート N8 号棟）【変更後】

現 況



撮影年月日：平成 23 年 3 月 23 日

工事の完了後

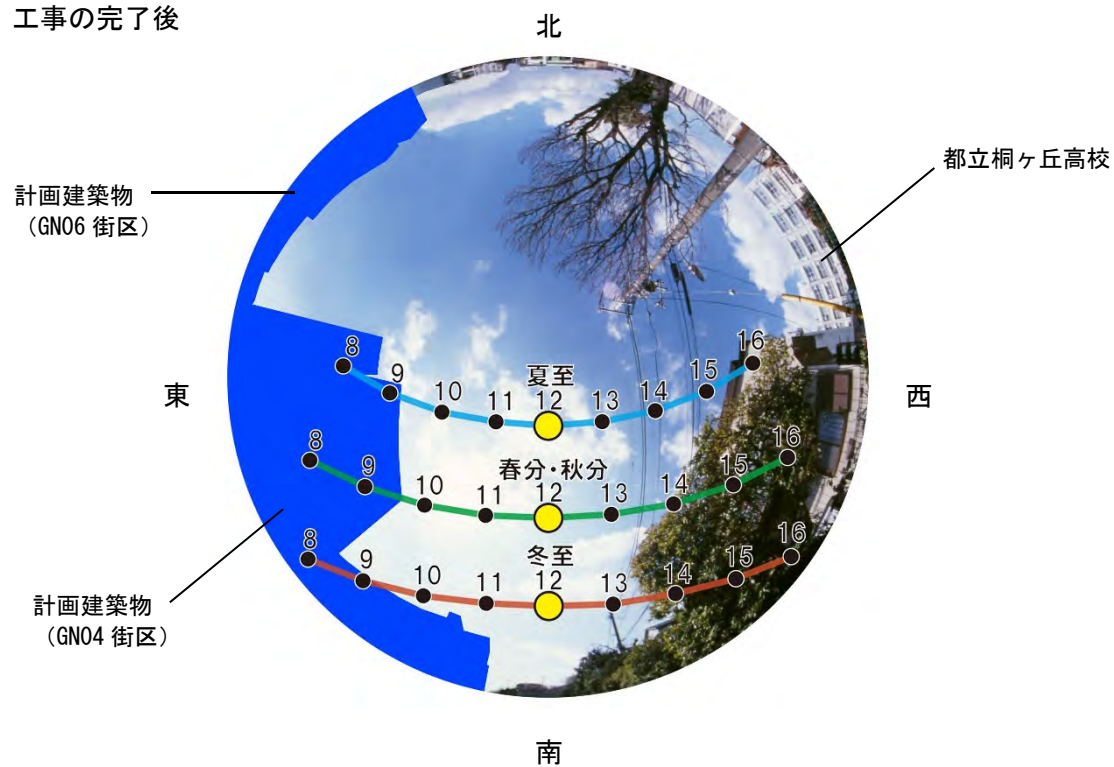


図 5.2.2-5(2) 天空図（地点 A：都営桐ヶ丘アパート N8 号棟）【変更前】

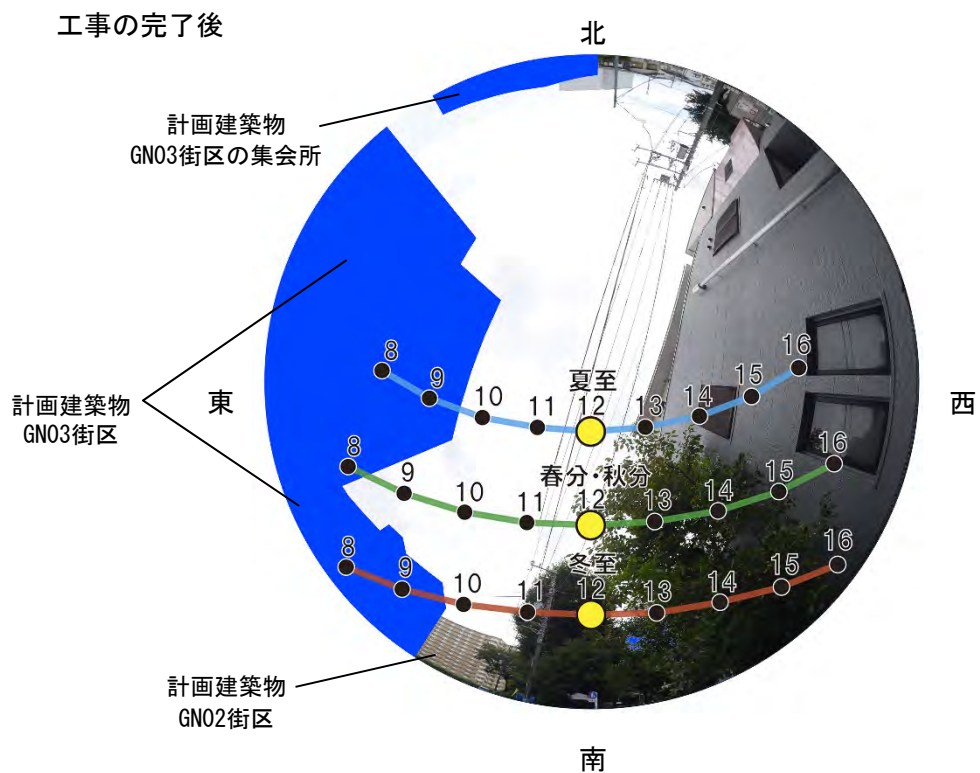
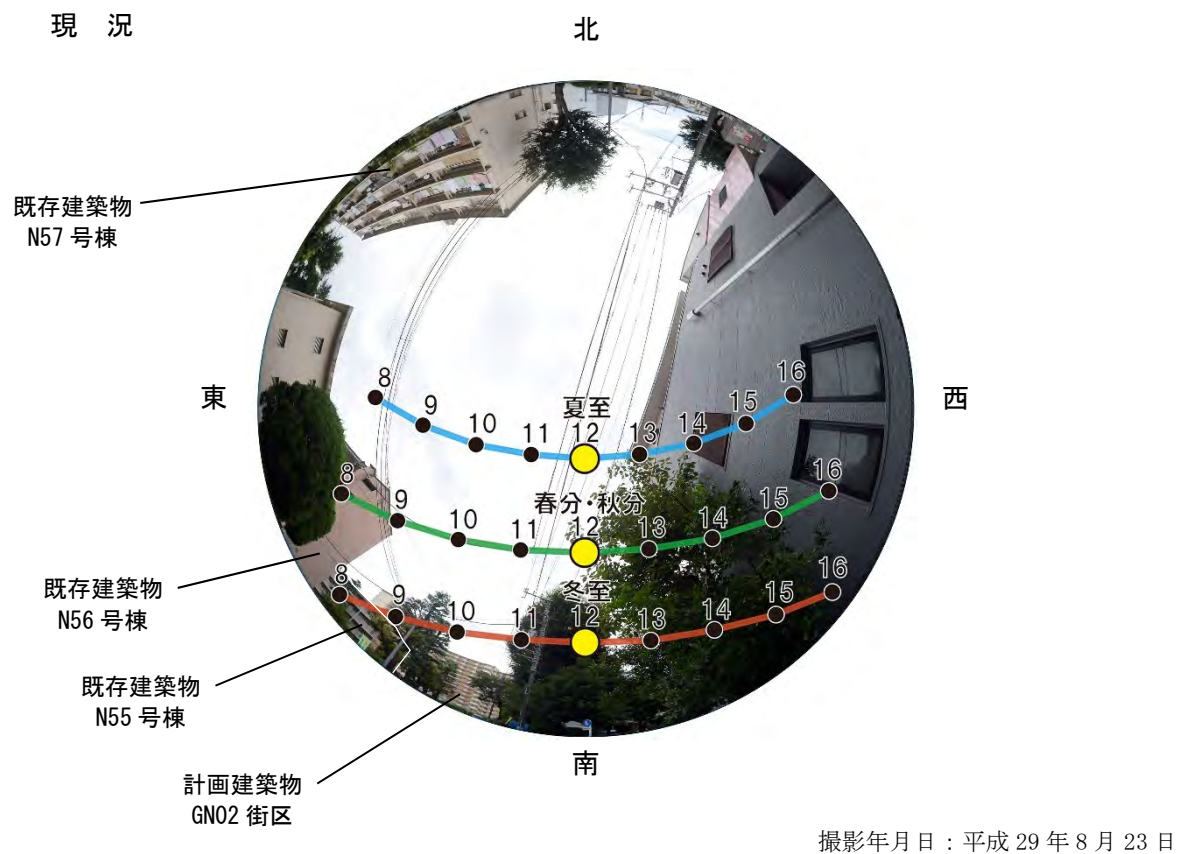


図 5.2.2-6(1) 天空図（地点 G：都営桐ヶ丘アパート N56 号棟付近）【変更後】

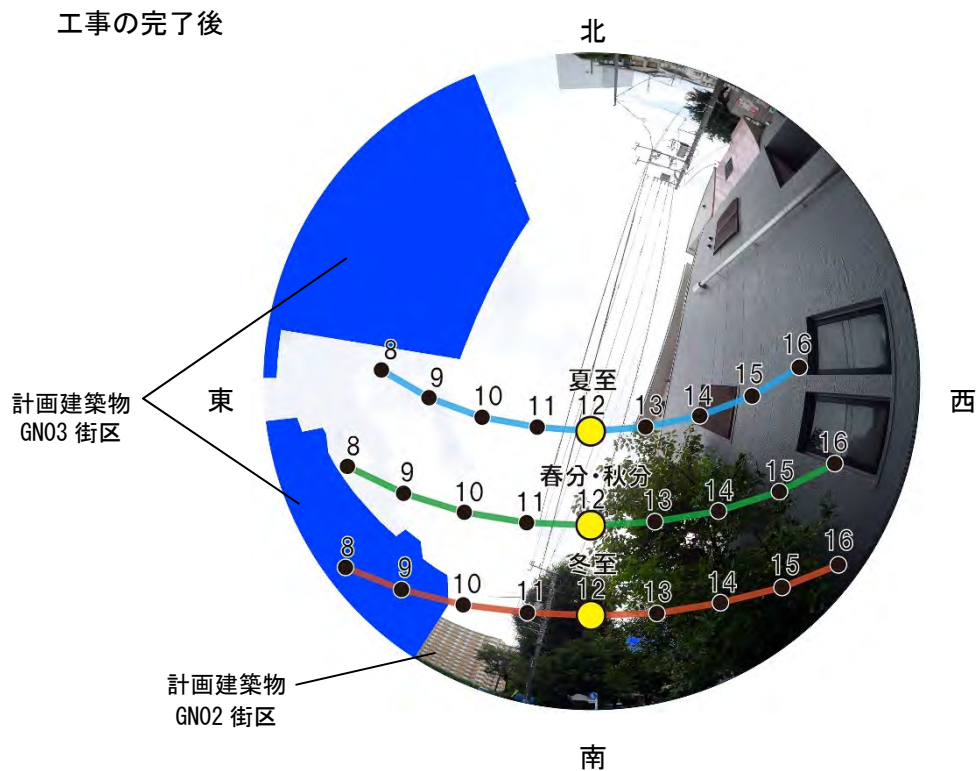
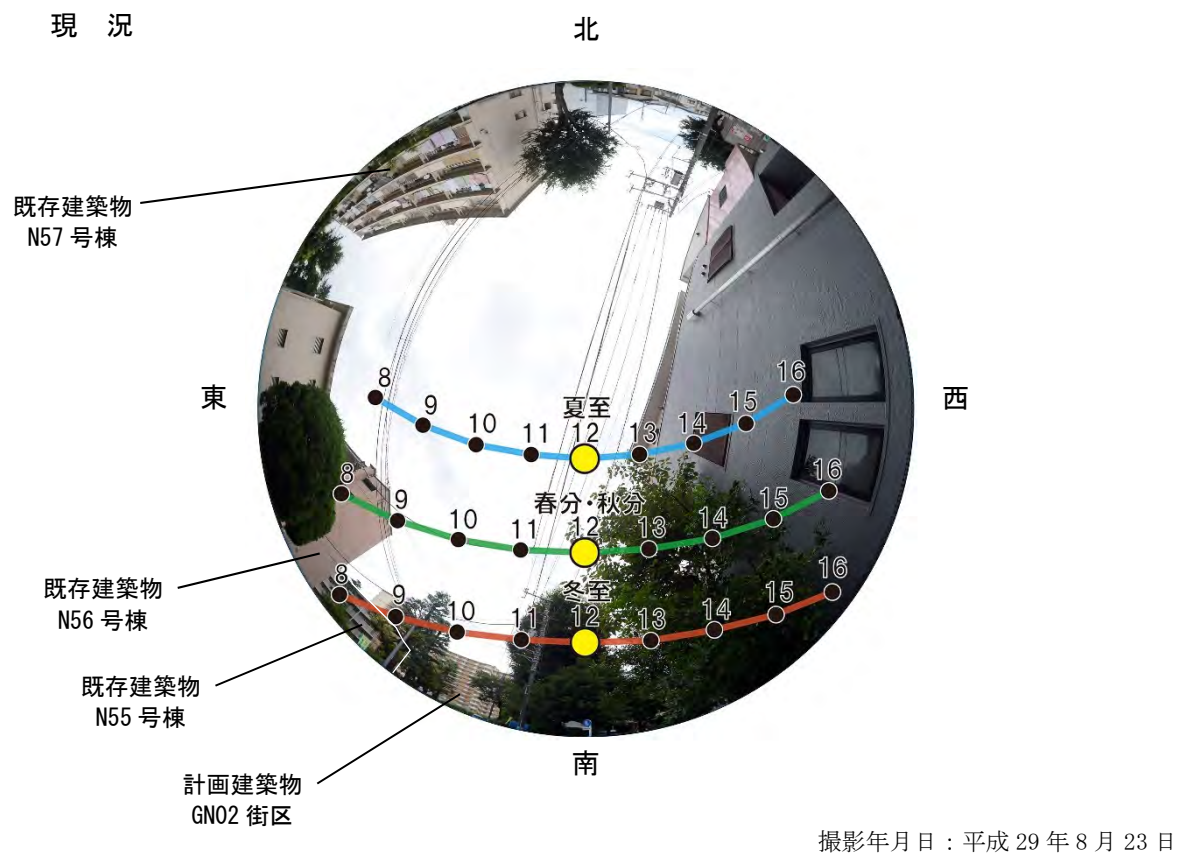
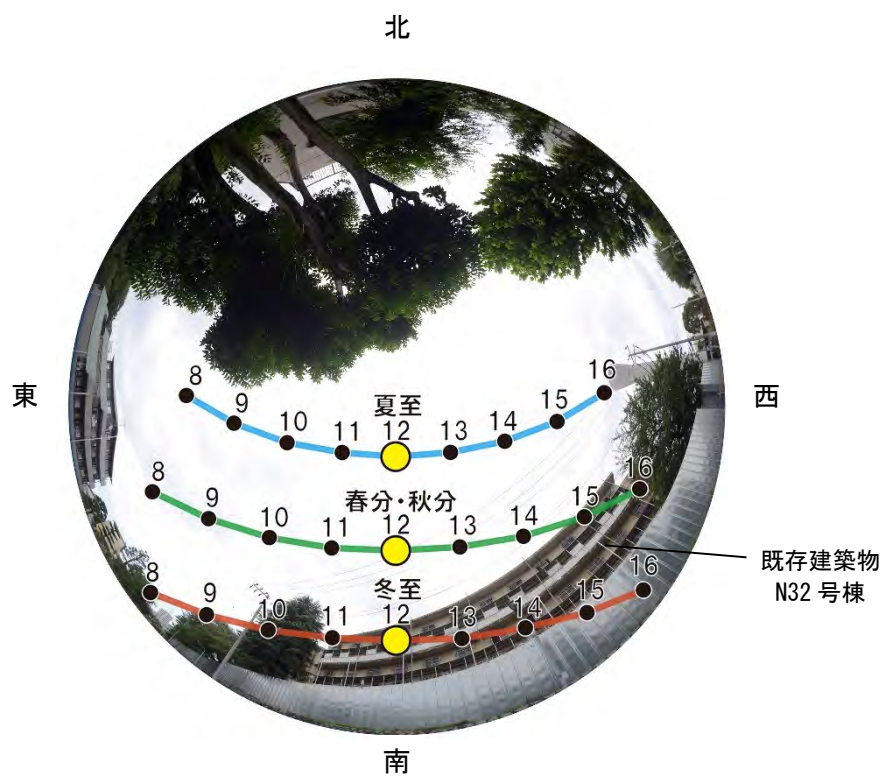


図 5.2.2-6(2) 天空図（地点 G：都営桐ヶ丘アパート N56 号棟付近）【変更前】

現 況



撮影年月日：平成 29 年 8 月 23 日

工事の完了後

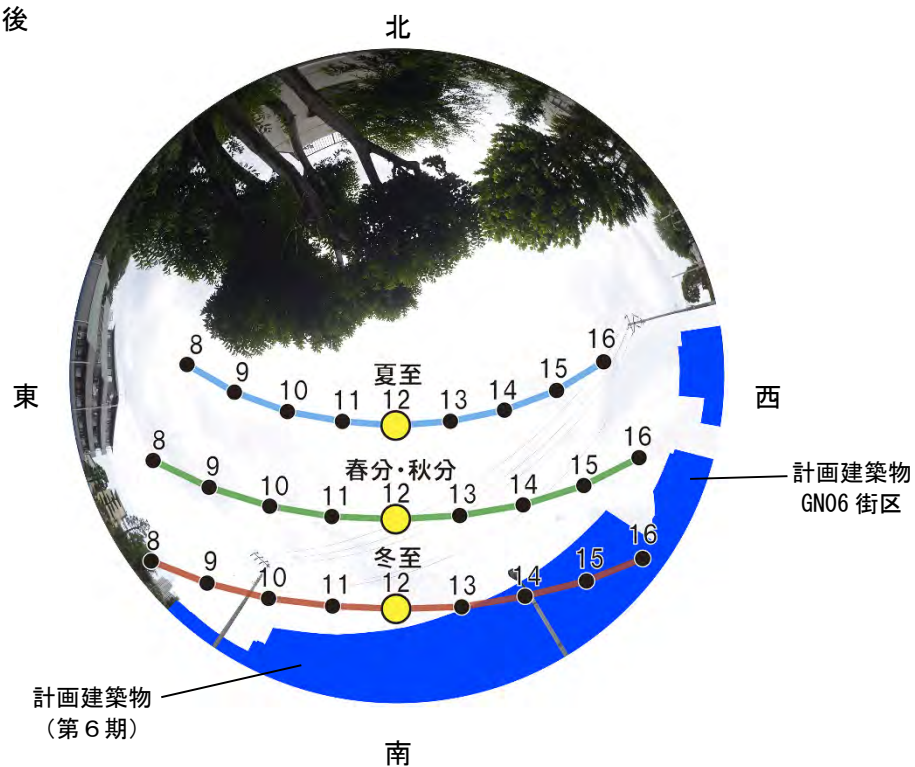
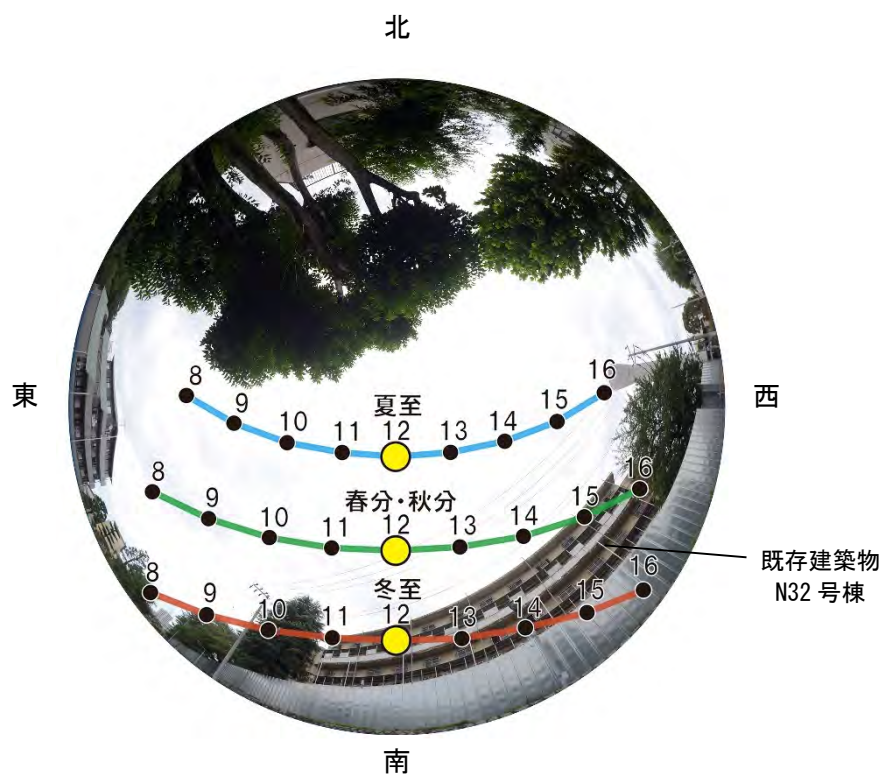


図 5.2.2-7(1) 天空図（地点 H：都営桐ヶ丘アパート N32 号棟付近）【変更後】

現 況



撮影年月日：平成 29 年 8 月 23 日

工事の完了後

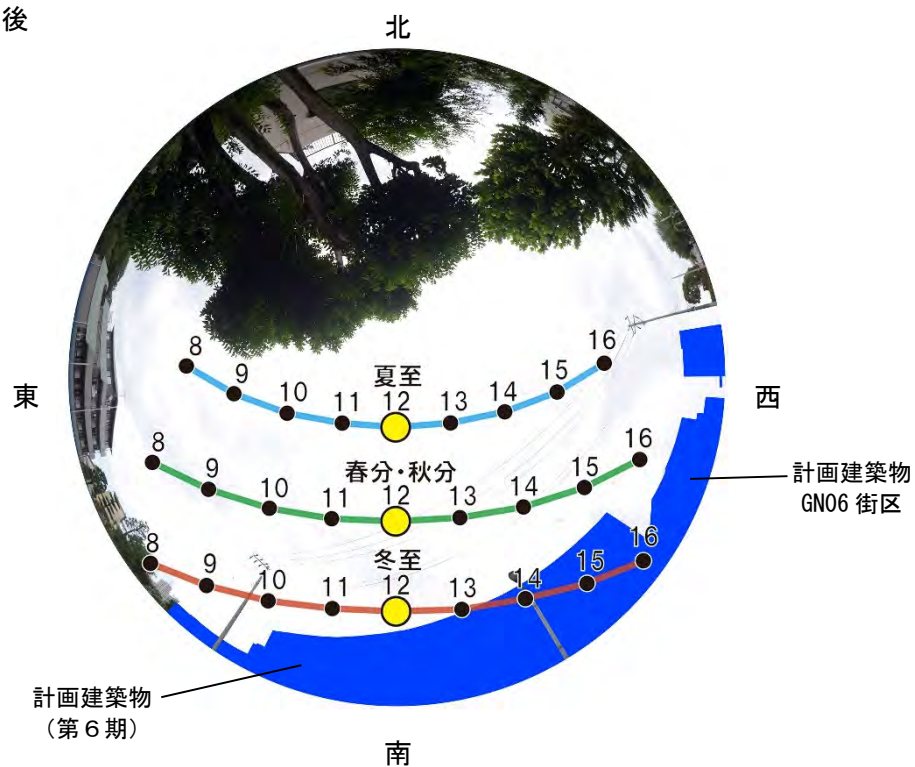


図 5.2.2-7(2) 天空図（地点 H：都営桐ヶ丘アパート N32 号棟付近）【変更前】

(空白ページ)